

普及情報

分類名〔土壌肥料〕

カニ殻含有資材と微生物資材の連用ほ場における ハウレンソウ萎凋病発生状況

農業・園芸総合研究所

1 取り上げた理由

カニ殻含有資材と微生物資材を連用した雨よけハウレンソウにおいて、両資材区の萎凋病の発病度がほぼ同等であったので普及情報とする。

2 普及情報

- 1) カニ殻含有資材と微生物資材の発病度はほぼ同程度に推移する(図1)。
- 2) カニ殻含有資材は、微生物資材に比べ、収量は1割程度低くなるが(図2)、資材費は、4割程度で済む(表1)。

3 利活用の留意点

- 1) 本試験では、カニ殻含有資材および微生物資材はメーカー推奨量(200kg/10a)を毎作施用した(表2)。

(問い合わせ先：農業・園芸総合研究所 園芸環境部 電話022-383-8124)

4 背景となった主要な試験研究

1) 研究課題名及び研究期間

微生物資材を利用したホウレンソウの生育促進と萎凋病防除に関する試験(平成12～平成16年度)

2) 参考データ

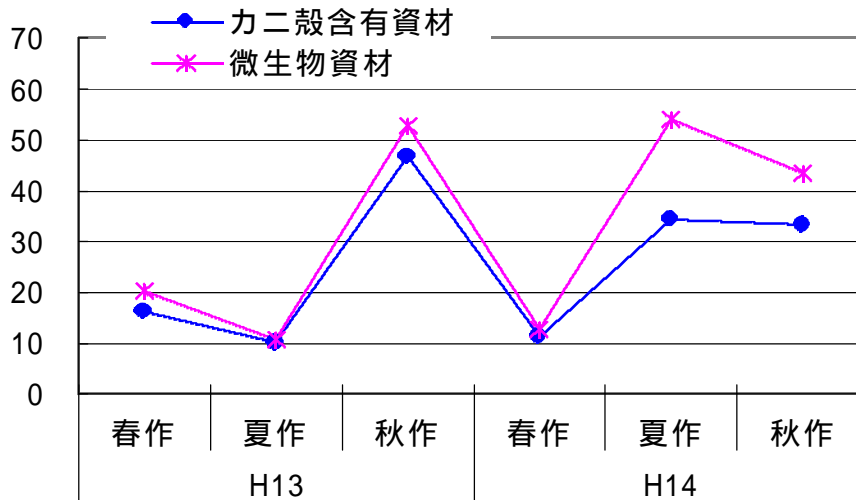


図1 発病度

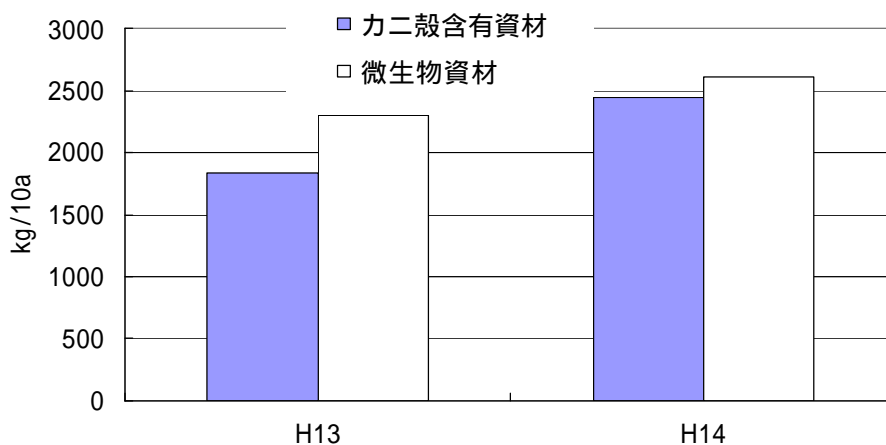


図2 収量 (1年3作の合計)

表1 資材費

	施用量 (kg/10a)	kg単価 (円)	金額 (円/1作)
カニ殻含有資材	200	103	¥20,600
微生物資材	200	229	¥45,800

表2 試験区の構成

区名	施用量 kg/10a・毎作	内容成分
カニ殻含有資材	200	N:P ₂ O ₅ :CaO = 5:5:18 カニ・エビ殻
微生物資材	200	N:P ₂ O ₅ :K ₂ O = 3:3:3 BacillusとStreptomycesをカニ殻を餌にパーミキュライトに培養したもの

3) 発表論文等

なし